



なま

12月号
vol. 154

特集

かわの流るる 草ぼうらに

【第一回】

革の雰囲気、風合いの生きる靴を —
Ippo ippo 赤尾恵利子 さん

「積層」

天下茶屋2丁目付近にて撮影

皮革のまち、西成・浪速。
革にまつわるモノゴトを
蛇行する川のごとく
訪ね歩いていきます。

革の流れの 革の流るるに

[第1回]

革の雰囲気、風合いの生きる靴を——
I p p o i p p o 赤尾恵利子さん

ザインしたものじゃなくって、その革のツヤであるとか、雰囲気、風合いであるとかが生きる靴を作りたいから、ほんとにもうシンプルなデザインですね。可愛すぎるのも嫌やし、でも尖り過ぎてるのも嫌やし。

——色々な人に履いていただけそうなデザインですね。

どんな年代の人にも受け入れもらえるデザインをしたいなって思ってたっていうのと、主に4万円前後の靴を作りたいっていうのが最初から頭にあって。自分がそのくらいの価格の靴を履いてたんで、自分が履いてたような靴にプラス「もうちょっとこ

いつもある定番を

——I p p o i p p oさんが靴作りで心がけていることは？

靴のベースとなる革の素材の良さを生かしたものを作りたいっていうのがあるので、デザインでうしたいのになとか、既製品よりもちょっとプラス、お客さまのイメージが入るものを作りたいっていうのがあります。

——流行にも左右されずに、長く履けそうです。

昔、自分が靴難民やったんです。足のサイズがうんぬんじゃなくって、すっごい気に入ったらそればかり履くんですけど、次のシーズンに行ったら靴屋さんでもうイメージ変わっていて「私は何を履いたらいいの？ 履きたいものがないも無い」っていう状態やったこともすっごいあるんで、そうじゃなくっていつ行っても定番のものがあるお店にしたいっていうのもあるんですよね。「あそこに行ったらアレあるよね」っていう。

靴との出会いは偶然に

——靴を仕事にしようと思われ

た経緯は？

きっかけって自分からじゃ別になくって。31歳で前職を辞めて、さあ次何をしようかっていう候補の中に靴はあったんですけど、その時は私ではなく友人がしたかったんですね。靴。それで時間があるんだたら色々調べてよって言われて、資料請求とかして見てたらどんどん自分がハマっていった。西成製靴塾に見学に行った時に「あ、ここにもう4月から入りたい」って、なぜか自分の心



赤尾恵利子さん

革の流の 革の流の 革の流の 革の流の 革の流の

—— ippo ippo
というブランドの由来
を教えてください。
よくお客さんの一歩一
歩とかって言われるん
ですけど、そうじゃなく

でも食べていける、っていうのは
あったんで不安はなかったです。
—— 開業されてどのくらいです
か？
7年くらい(2017年当時)で
す。1年目2年目でやってきた
点々としていたことが、やっとこ
う、線になって繋がってきたって
いうのを3年目超えたくらいか
ら感じるようになりましたね。何
かと大変やなと思う時はありま
すけど、でもやっぱり自分の好き
なことなんで、それを仕事として
今やれているっていうことは、すご
い幸せやと思います。
これからの ippo



—— 靴作りが楽
しいからですか？
楽しいっていう
のと、あと、やっ
ぱり靴を作らせ
ていただくお客



ippo ippo
〒556-0016 大阪市浪速区元町 1-2-25
AIR1963ビル 2階 B号室
TEL : 090-9612-8905
URL : <http://ippoippo23.exblog.jp>

文責：若松司

が決まったっていう(笑)。靴は
元々好きでしたけど、自分が作
るっていう点で考えたことはそ
れまで一回も無かったんで、ほん
まにご縁があったんやろうなって。
すいません、アツい想いがあつた
キツカケではなかったんです(笑)。
—— 前職は何を？
前職は美容の世界で、全然違う仕
事なんです。でもメイクの仕事
なんで、手を使ってする仕事で、
自分でデザインというか、イメー
ジをしたものを形にするってい
う点では一緒。何か自分の手で作
り出す、どんな場所でもできる、
一生の仕事になるものを見つけ
たかったっていうのもあって、辞
めたのもあります。

—— 塾に通いだした当初から起
業を考えておられた？
はい。前職の仕事を辞めた後、友
人がするカフェのオープンを手
伝ってたんです。そしたら普通に

生活したら絶対会えないであ
ろう人達と、どんどん出会って
くわけじゃないですか。なんかお
店って面白くなって思ってた。で、
なぜか35歳のあいだにお店をし
たいっていうのだけは漠然と決
まっていた。製靴塾に行きました。
卒業後にすぐ、フルオーダーで
されている師匠の下で2年半勉
強させていたいただいて、そのあと
立って感じですね。

大変をのりこえて

—— 開業されてどうでしたか？
いやあもう最初の3年は必死の
ぱちですけどね(笑)。よう言う
んですけど、自販機の水にしても
何にしてももうやけど、「こんな
に高かったっけ？」って思うくら
いに手を出せない。もう電車にな
って乗れない。でもなんかね、過
去最高のド貧乏を経験する機会
なんで、それはそれですごく楽し
かった。「うわ、もう貯金何百円」

て、ポチポチ自分のペースでやっ
ていけたらなって、一歩ずつ進ん
でいけたらいいなっていう意味
の ippo ippo なんです。よ
申し訳ないですけど自分的なこ
となんです(笑)。ほんとポチ
ポチマイペースに、焦らず急がず、



みたいなのとか(笑)。

—— そこで楽しめるポジティブさ
がスゴいです。
ありがたいことに、周りに結構自営
している人が多くって。やっぱり
そういう大変な時も乗り越えてう

常に目の前の1足1足を大切にやっ
ていきたいなって。
—— これからずっと靴を続けてい
くのでしょうか。
なんかね、さあいつまでするって
いうのは、ふわふわしてた部分
あつたんですけど。でもここ最近に
なって、ほんと70

まくいつている人達を見て来て
たんで、なんかうましくない気が
はしなかったというか。それに正
直ね、もしとことんやるだけやっ
て、それでもあかんかったらその
時はすっぱり辞めよう、っていう
覚悟も。その後は別にどないして

様が増えたら増えた分、そのお直
しを自分の手でしたいっていう
のも出てきて。そしたら自分の靴
を生み出せば生み出すほど、辞め
ることはできない(笑)。それで
れば70歳、80歳まで靴を続けて
るおばあちゃんになりたいとい
うのが、ここ1年くらいで自分
中で定まったので、迷いも無くな
りましたね。70歳、80歳をそう迎
えられるように、この40代、50代
をどうしたらいいかなっていう
のが今の課題ですね。



にしなりもん

西成にもまだまだ発掘されていない文化資源・社会資源は存在するはず。これら西成産のモノやコトを「にしなりもん」と名づけ、その由来やエピソードを辿っていきます。

遊び心満載の隠れ家カフェ 「2612CAFE」

今回は、以前掲載した「セットばあ」のマスターのオススメ、隠れ家的なカフェ「2612CAFE」取材した。この不思議な店名の由来は後ほど。

鶴見橋商店街3番街を南にぬけて少し入り組んだ路地に入ると、店名が大きく書かれたドアが現れる。店内は1階に5席、2階に数席、かわいい雑貨も販売されており、良い雰囲気。伺った日の前日がちょうどオープン1周年で、記念のインテリアも飾ってあった。ご夫婦自ら内装も手掛けた店内には手作り感が充満している。イラストを含めすべてが手書きされているメニューも然り、手作りの楽しさが伝わってくる。

ランチの時間だったので、10月にできたばかりの新メニュー「ふわふわスフレオムライス」を注文。小さな鉄板の上にはケチャップで愛嬌のある顔が描かれている。はて、どこかで見たこ



とのあるような…。その遊び心が嬉しい。初めて食べたスフレオムライスは、その名のとおり卵がとてもふわふわで、中のケチャップライスとの相性は抜群。小ぶりのエビとマッシュルームも良いアクセント。見た目はかわいいが、ポリウムはたっぷりだった。

お店の宣伝はあまりしていないが、口コミや来店した人のインスタを見て、近所のお母さんや海外からの観光客も良く来店するらしい。

「隠れ家カフェ」という言葉がぴったり。こだわりのランチやドリンクだけ

でなく、SNS向きの映えるお店。マスターの言葉に偽りはなかった。

最後に、左記の住所を見ていただければ店名の由来はお分かりだろう。

2612CAFE

住所：西成区鶴見橋2の6の12
営業時間：9～17時
定休日：日曜日（臨時オープン有）

西成ってどんな町なの？

以前から「西成ってどんな町なのか、どうやってできたのか？」と少し興味があったので調べてみた。

現在の西成区は「西成郡」という古い地名に由来している。西成郡は大阪市の上町台地から木津川にいたる広い範囲を指しており、古墳時代までは一帯が海だった。その後、古代から中世にかけて木津川の入り口付近に石や土砂などが堆積し陸地化した。江戸時代には太閤秀吉の都市計画を下敷きに新田開発も盛んに行なわれ、現在の海岸

線を形成していった。

1889（明治22）年、近世の大坂三郷をほぼ踏まえつつ大阪市が誕生した。1897（明治30）年の第一次市域拡張では、旧難波村、旧木津村、旧今宮村の北半分が市に吸収され、「南区」になった。境界線は関西線（環状線）まで南下する。

二次にわたる耕地整理事業の完成（1920年）に伴い「鶴見橋通り」「鶴見橋北通り」「長橋通り」「出城通り」「南開」「中開」「北開」という町名が生まれ、さらに市域変更調査会の「大阪市

域を拡大すべき」という決定をうけ、

1925（大正14）年の第二次市域拡張では関西線を越えて大阪府西成郡今宮町、玉出町、粉浜村、津守村の4町村が大阪市に編入された。「西成郡」の継承を意図してこの4町村は「西成区」と命名された。当時の西成区の面積は720平方キロ、人口は137632人だった。

西成区の成り立ちも少し分かってきたところで、「柳通一〜七丁目」という昔の町名をご存知だろうか？ 国道26号線沿いの天下茶屋に行く途中にこの旧町名の継承碑がある。そしてその隣に「柳地蔵尊」が並んでいる。その名は大きな柳の下にお堂を建立したことに由来する。

旧町名継承碑をみると、日頃から通っている道でもこんなところにあつたのか、昔はこうだったのか、と新たな知識を得ることができ、昔と今の違いを感じるのが大事だと実感できた。みなさんも西成の町を少しずつでも知っていくと面白いだろう。

文責：山村裕太・寺島史視



【田岡秀朋】来年のいまごろは、大阪市存続が廃止が決まっているのかな。鶴の如く公明党の条件を丸呑みする維新がゆつていの姿にかぶる。「小さいことは気にしない。わかちこわかちこ…」



【佐々木敏明】賑やかに苅田の子らの鎌殺し農夫の肩借りて交尾の赤蜻蛉ひめゆりの城炎上す三島の忌



【沖田一志】クレジットカードの明細を見ていると覚えのない請求が…。子どものスマホから携帯会社の決済サービスの利用履歴が発覚。そんな決済方法が存在することすら知りませんでした。



長野公園に勤務するわたくし大門が、勤務地や My フィールドに棲む生き物の生態や豆知識などを紹介していきます。実用的な知識だけでなく生き物好きな人間の私的な関心も多いかも。どうぞお気軽に読んでください。



オシドリの大集団

vol.8

おしどり夫婦は嘘？
本当？

オシドリ

今年もあっという間に季節は冬へ。今冬も暖冬予想となっており、日中はぼかぼか陽気かもしれませんが、急な寒波もあり寒暖差に注意が必要です。体調を崩されないようお気を付けください。さて今回は大阪の冬に見られる野鳥・オシドリです。

オシドリ（学名 *Aix galericulata*）は鳥類カモ目カモ科オシドリ属に属します。本種は日本やロシア、朝鮮半島など東アジアにかけて広く、国内では一部離島を除く北海道から沖縄まで広く分布しています。本州中部以北では夏鳥、以南では主に冬鳥として飛来します。平地から高地にかけての森林がある湖沼やため池、河川などに生息し、緑の多い街中の公園の池でもその姿を見ることが出来ます。

大きさは40～50cm前後でオスが大きい傾向にあります。大きな特徴はなんと言ってもオスの容姿です。全身が極彩色で非常に美しく彩られているうえに、三列風切羽（鳥類の翼方向に整列している一連の羽根、その三列目）が銀杏型になっていて、とても見栄えのする姿をしています。他方でメスは全体的に地味な灰褐色をしています。鳴き声は「ピューピュー」と



オシドリのつがい（左：♂ 右：♀）

やや濁った声や「クワックワッ」というやや甲高い声の特徴的です。食性は主に植物食で種子や水草などを食べ、とくにどんぐりが

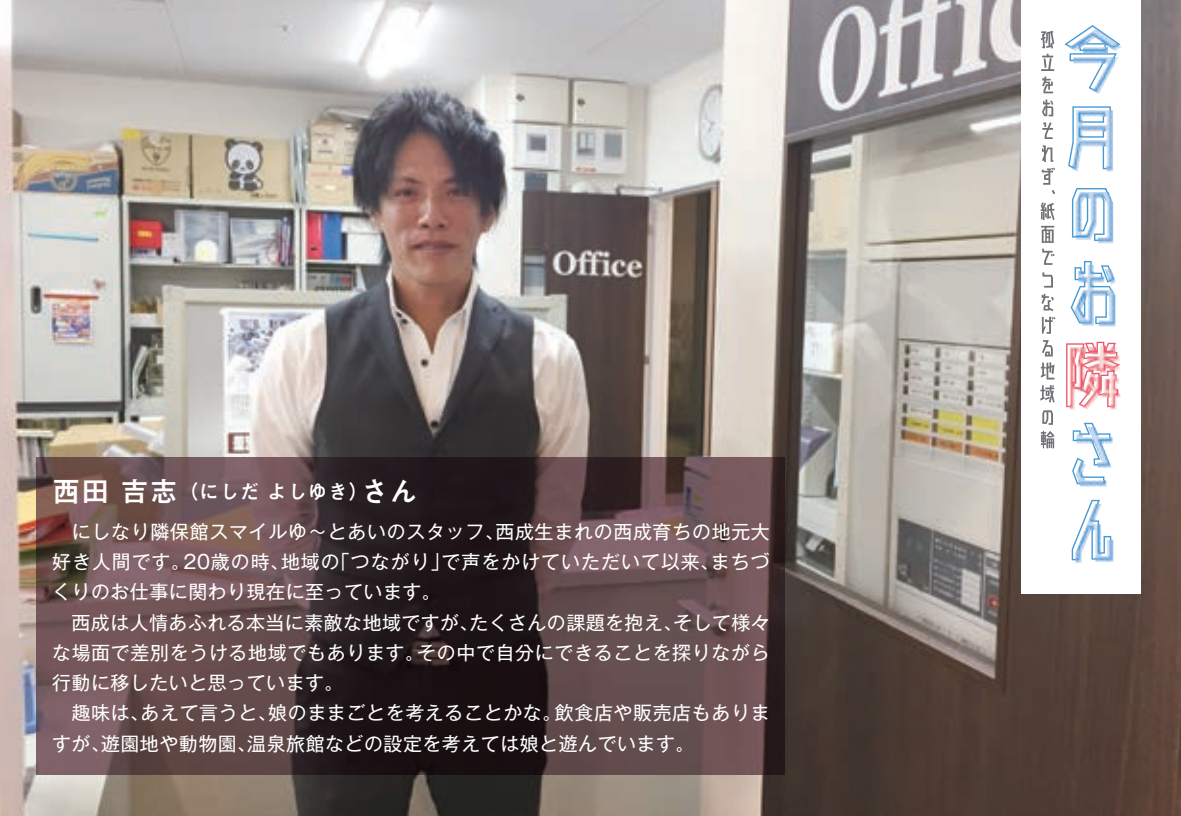
大好物ですが、貝や水生昆虫なども食べます。

春先から初夏は繁殖の季節で、山間部の森林内で高木の樹洞に営巣し産卵します。かつては全国的に広く生息していましたが、近年は営巣できる樹洞のある森林の減少や越冬環境の悪化により減少傾向にあり、絶滅危惧種に指定している自治体もあります。長野公園内では、公園の境界にある溜め池で毎冬見ることができ、巡視の際にその姿や鳴き声を楽しませてもらっています。

オシドリは日本では古くから人間にとって身近な鳥で、歌に詠まれたり絵に描かれたりと、いつの世も親しまれ慈しまれてきました。オシドリのつがいがいっしょにいるという生態に因んだ「おしどり夫婦」という言葉もその一つ。しかし、この生態観察には実は誤解が含まれています。長年、継続してつがいでいるペアもたしかにいますが、なんと、ほとんどが毎年相手を変えるばかりでなく、浮気も結構多いのだそうです。オシドリたちにも人間みたいに色々事情があるのでしょうか。これからの冬の季節、オシドリを見かけたときは是非、その美しさとともに生態にも興味をもっていただければ幸いです。

大阪府営長野公園

〒586-0051 河内長野市末広町 581-1
TEL: 0721-62-2772 FAX: 0721-62-2810
https://www.toshi-kouen.jp/staticpages/index.php/nagano_top



西田 吉志（にしだ よしゆき）さん

にしな隣保館スマイルゆ〜とあいのスタッフ、西成生まれの西成育ちの地元大好き人間です。20歳の時、地域の「つながり」で声をかけていただいて以来、まちづくりのお仕事に関わり現在に至っています。

西成は人情あふれる本当に素敵な地域ですが、たくさんの課題を抱え、そして様々な場面で差別をつける地域でもあります。その中で自分にできることを探りながら行動に移したいと思っています。

趣味は、あえて言うと、娘のままごとを考えることかな。飲食店や販売店もありますが、遊園地や動物園、温泉旅館などの設定を考えては娘と遊んでいます。



げんば

ハナレバナレになった人とまち。くらしの窓から、紡ぐヒントを探してみる。

今回は少し珍しい光景を紹介。普段は何気なく見過ごす工事現場に潜入。それも建物の廻りに架けられる「足場」の中からの2枚。写真の左手がタイル張りの外壁で、その周囲を「足場」が取り巻く。右手に広がるのはシート越しにみえるまちの風景。内側は意外と明るく、景色も透けて見えるから爽快だ。この足場の上でひび割れの補修や塗装の塗り替え、止水工事などが行われる。狭い足場で作業する職人さんもうい、この足場を組む人達もすごい。それが驚きだ。足場をつくる鉄の部材やシート全てを、上空で手作業で組み立てていく。こんな仕事場にも外国人が増えて久しいが、意思疎通の小さなミス一つが命を落とす大惨事につながる。システム化は進み安全は守られつつも、やはり生ものの現場では「現場合わせ」が職人の腕の見せ所。現場仕事には目に見えない色んな汗が流れている。（安田拓也）



10階以上の足場から眺める光景



【寺島史視】ここ最近、食パンにハマっているという有名な店を探し、買っている。美味しい食パンの店や食べ方を知っている人がいれば教えてほしい。やわらかさと甘さのある食パンを見つけたい。

【谷口円】先日旅行に行った時、「高速道路から見える山間の集落の風景」が好きだということに気づきました。どこかの誰かの生活の息遣いを斜め上から俯瞰で見る、その距離感が良いようです。



【安田拓也】文化の秋。全国で学生音楽コンクールが行なわれ、今年は小中高生のバイオリン族の演奏を聴いた。未成年と侮るなかれ、その力強さと冷静さに魅せられる。スポーツのようだ。



【西田吉志】西成区には年に1回、各町会が集い競いあうスポーツ大会「西成区民体育レクリエーション大会」がある。町会により温度差はあるが、町会の住民がひとつになるこのイベントはすばらしいと思う。



葉っぱの吐見

私は草木が大好きです。とくに観葉植物には心癒されます。私と葉っぱのお喋りを聞いてください。



「椿の葉っぱ」の巻

私は椿の葉っぱ。チビで肉厚な葉っぱです。葉色は年中緑一色の平凡な葉っぱ。コンプレックスのかたまりみたいな私をみて、おじいちゃんが

「古くから日本で愛され、世界にも仲間が居るんだよ。葉っぱが平凡だからこそ綺麗な花が目立つんだ。平凡ほど素敵なことはない。自信を持ちなさい」と優しい笑顔で勇気づけてくれた。

今年も私の葉っぱに花の蕾がやってくる

蕾が開花したら

「初めまして。綺麗ね。」と自信を持って蕾に挨拶しよう。

赤井まゆみ

椿のこと
ツバキ科ツバキ属に属する植物。海外では「カメリア」と呼ばれ人気がある。咲く花の色は赤・白・黄・ピンク。花言葉は「控えめのすばらしさ」「気取らない優美さ」

皮算用 胸算用

厚生労働省の隣保館設置運営要綱には基本6事業(調査・研究、相談、啓発・広報、地域交流、周辺地域巡回、地域福祉)に加えて、隣保館デイ、地域交流促進、継続的相談援助という特別3事業が規定されている。特別事業は社会福祉法人等に委託できるので、民設民営の隣保館でも行政の公募事業を受託する可能性は残されている。実施の実現性というそもそもの問題はあがるが、条件が整うのであれば、私たちも積極的に公募にエントリーしたい構えである。

にもかかわらず、今大阪市では地域福祉計画と隣保館事業を実施する部署(受け皿)が存在しないために市役所として検討できない状態にある。なぜこんなことになったのか? 市議員の皆さんや理事の皆さんと私たち現場が地域課題に取り組む第一歩をどのように作るかが問われている。

(寺本良弘)




いい湯かげん

関電の差別会見に驚いた

関西電力幹部の金品受領問題には驚いた。社長を筆頭に幹部20人が総額3億円を超える金品を受領し、吉田開発は競争入札を経ない特命発注等で多額の原発関連工事を受注し、関電は原発関連の工事情報を福井県高浜町の森山元助役(吉田開発の顧問でもあった)に事前に提供していたとのこと。森山氏が見返りを求めて金品を渡し、関電はその資金を流す目的で吉田開発に工事を発注した取崩罪の疑いは濃厚だ。入札における関電の受注調整も疑われ、独占禁止法にも抵触する。組織ぐるみの大犯罪だから、国民の原子力事業への不信感は一層高まり、全国の前発再稼働が頓挫する可能性もある。

ところが、関電トップの記者会見では、「金品の見返りに森山氏に工事発注の情報提供した事実はない」「吉田開発への工事発注プロセスは適切だった」と発表した。そして、実に奇妙なことに、森山氏の強い圧力が原因とし、その強引さ、あまつさえその人柄にまで言及し「断ることができない雰囲気だった」と語ったから、ボクは二度驚いた。そんなバカな、関電ほどの大企業に、金品強要等不正行為への対応システムがないはずはない。こんな見え透いた言い訳は何故なんだろうと感じた。

不可解な記者会見の背景はすぐに露呈した。ネット等で森山氏が「人権団体」の顧問で、ずっと昔部落解放同盟の役員だったこと、あとの情報も流れたのだ。なんと、関電トップとあろう者が、前代未聞の不正の背後に解放同盟がいると匂わせて、責任逃れを演じようとしたのか、そう疑われても仕方ない。しかも、関電は昨年7月にこの問題で社内調整を開始、9月には報告書をまとめたが、何故か公表してこなかった。そして、今年3月森山氏は死去した。え、死人に口なし、死亡を待っての会見だったのか? 関電組織ぐるみの計画的記者会見、つまり「差別会見」だったのか。さっそく、部落解放同盟は西成支部出身の赤井中央執行委員が現地調査に赴き、「声明」を発表した。詳細はネットや週刊誌でも公表されているから、ご一読願いたい。



富田一幸

人間のしあわせ、福祉のあり方、そして新しい社会の結びつきを求めて、これからは「いい湯かげん」のテーマ探しに出かけます。

さんの就任は叶わなかったが、大株主としての松井大阪市長のオファーは、パフォーマンスと受け取られているようだが、ボクは適切だったと思った。松井市長には、原発マネーの解明とともに、この「差別会見」の追求もやって欲しいと期待する。

今回の事案では、ネット等での差別拡散は、かつての「橋下出自」報道などに比べると、抑制的だったと感じた。部落解放同盟の「声明」も素早く、的確だったと感じた。だからこそ、「差別会見」への追求はちゃんとなされなければならぬと思った。



[若松司] 天皇即位の祝賀パレード。昭和~平成~令和の連続性を感じるイベントだった。天皇制が国民の生活に密着してんだなあ、と感じた。象徴としての役目って何だろう。



[山村裕太] 最近フットサルをしました。開始3分目がチカチカしてきて、4分ごろにはボールが二重に見えました。5分プレイして息切れが10分止まりませんでした。

地域の縁を心でつなぐ

心の時間



松向寺

吉野源三郎著『君たちはどう生きるか』に天動説・地動説の話が出てきます。地動説とは、地球が太陽の周囲をまわっているという現代では当然とされる説ですが、16世紀はじめにコペルニクスが初めて公表しました。それ以前のヨーロッパでは、太陽や星が地球の周囲をまわっているとする天動説が信じられてきたのです。そういうわけで「もの見方」が一八〇度変わること

をコペルニクスの転回と言います。

この本では真理を知る為には、天動説のような「自己中心的」な見方をやめて、地動説のように「自分は広い世の中の一分子」に変わることの大切さが説かれています。さまざまな原因や条件や縁が相互に関係しあつてすべてのものが存在しているという考えは、仏教の「諸法無我」と共通し「おかげさま」の根本でもあります。

「おれがおれが」を捨てて「おかげおかげ」で生きよ」と聞いたことがあります。「おれがおれが」から「おかげさま」に変わること、真実の「もの見方」が出来る人生が歩めるのではないのでしょうか。

松向寺 通法

ココドコ

ココはドコ？
わたしはゆ〜とあい
編集部が厳選した
「にしなり100景」
大公開！

レトロな雰囲気の建物です。西成区の都市景観資源にも選ばれた場所なんです。ココがドコだかわかった人は、ゆ〜とあいの受付まで！正解者にはドリンク無料チケットをプレゼントいたします(先着10名様限り)。回答期限は12月末日、ふるってご回答ください！

【先月号の答え】 西成区出城2丁目の、河童ラーメン本舗の建物でした！トマトがとっても目立ってますよね。



ゆ〜とあい

にしなり隣保館

にしなり隣保館「スマイル ゆ〜とあい」は、地域コミュニティ全体が抱える課題の解決をめざす民設民営の福祉施設です。日々悩んでおられる困りごとはありませんか？お悩み解決のためにできることをいっしょに探しましょう。

なび 12月号 (vol.154)
発行日:2019年12月1日(創刊日:2007年1月1日)
発行:株式会社ナイス
住所:大阪市西成区長橋3-6-33
電話:06-6563-1156
E-mail:info@nice.ne.jp
url:http://www.nice.ne.jp/

編集長:若松司
編集:沖田一志、佐々木敏明、岡田秀朋、寺島史規、西田吉志、安田拓也、山村裕太(あるいはお願)
イラスト:hidarimaki デザイン:谷口円

facebook: <https://www.facebook.com/navi.nishinari/>

facebook

